

世田谷区も 区立学校給食 無償化だけど・・・

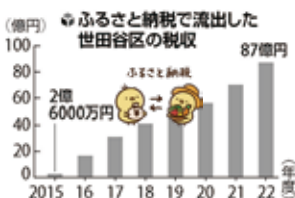


●物価の高騰が止まりません●世田谷区の新年度予算では1年限定で区立学校給食費の無償化です●1年たって経済状況を見て次の年を考えるとのことです●もちろん次の予算は誰が編成するのか、分かりませんが●しかし、無償化を決めたのは葛飾区、台東区、品川区、北区、荒川区、中央区と続いています●その中で1年限りという前提条件付きは世田谷区だけです●学校給食は義務教育のオマケではありません、食育の基本であります●本来なら、国がやるべきことですが、地方自治体から始めて国の政策にすることはあることです●保坂さんの真骨頂はそういう政治姿勢にあったのではないのでしょうか●しかし、今回の予算では何を躊躇しているのでしょうか●実は国に立ち向かう政治姿勢など多くの虚像であることは身近で見ている議員なら知っていることです●結局、行き着くところは「**財政の黒字化増大**」という狭小な保身の姿勢です●投資という考え、子どもたちへの投資にどうして踏み切れないのでしょうか●常識的にみて今後、物価が下がるのでしょうか●仮に万が一が下がったとして再び給食費を徴収するのでしょうか●政治的愚策であることに間違いはありません。

ふるさと納税は 85%が補填されている

●ふるさと納税の流出額が世田谷区は87億円に達し大問題となっているが現実問題として保坂区長が及び腰なのは理由がある●確かに地方交付税の補填はないが、都の財調制度で85%補填されている

●それを上回る財調交付金で財政痛感がないからと。



4

区長選の舞台裏 波乱を呼ぶか 67歳の現職と29歳の挑戦者



2019 年区長選

18万9640	保坂展人	63	無所属
12万0898	三井美穂子	56	無所属

2015 年区長選

19万6068	保坂展人	59	無所属
9万6416	久保田英文	55	無所属

カギは世田谷を変えたいか

●現職の政治は過去を振り返れば、新味はない●一方29歳は無名かつ若い、最近の若者はあなどれない。改革力も政策力もある。あとは有権者が世田谷区を変えたいかどうかだ。

●過去の区長選は現区長の圧勝である。2015年はダブルスコア以上であり、2019年は6万9千票差●いずれも保守対革新という図式であったが2015年の保守は無名に近く、また2019年も議長経験者と言っても、世間を騒がすほどの知名度はなかった●今回、区長は対立候補(予定者)が2月になっても出てこないことに安心の4期目を信じていた様子●一方で選挙は1ヶ月でひっくり返る。区長が最初の当選を決めた選挙は4月に出馬表明だった。

あとがき

●今回は保坂区政12年を総括する観点から、主に第1回定例会(～3月28日)で取り上げた内容をお伝えしております●保坂区政の本質は令和5年度当初予算に記載されている行革の取り組みの「**建物の改築時期の延伸**」にあります●もちろんそんな行革は間違いです●そもそも地方自治体の責務は、区民が等しく享受する安全な道路に始まり、子どもであれば教育環境、あるいは公共施設を整えることでしょう●学校の設置者である区長が率先して**学校の改築の延伸**を政策に掲げることなどあり得ません●もちろん借金だらけで首が回らない自治体は別ですが、世田谷区の場合、保坂区政の12年間貯金が借金を毎年400億円も上回っていたのです●今回は900億円も上まっているにも関わらず「**建物の改築時期の延伸**」と書いています●しかも、区民税1年分の貯金が出来たと誇っているのです。だったら税金取るなよ！と言いたくなります●「延伸」「先送り」「決定しない」は保坂区政の重要なキーワードです●情報公開も保育園の虐待事件の隠蔽で保坂区長の地金があらわになりました●

若者新人区長候補の登場

●そんな折、内藤ゆうや氏が区長選に挑むという吉報が飛び込んできました●実際、2月の立候補予定者説明会(選挙管理委員会主催)の後に記者会見を開きました●29歳という若さとその聡明、謙虚、理論的な面をそなえ、高級官僚への道を捨て、区長選に挑むとは大した若者です●世田谷区政を変えるには思い切った人物に託すしかありません●明治の偉人たちも維新時は西郷42歳、大久保39歳、木戸36歳、伊藤28歳だったといひます。

おおば正明(大庭正明) 略歴 ①昭和62年「世田谷行革110番」から組織なし、カネなし選挙で、最下位で初当選(次点と14票差) ②以後連続9期、政党所属歴なし、一貫して無所属 ③「福祉の財源は行革から」を政治信条 ※保坂区長の行革とは全く違います! ④■成蹊大経済卒66歳【家族】妻と二人暮らし祖師谷、北烏山を経て粕谷在住。

区民が求めているのは**税金を役立つことに使うこと**！税金を貯め込んで自慢とは！

世田谷行革110番

世田谷区議会議員

おおば まさあき 正明

区政報告



保坂区長は税金を使わない事が行革だと誤解している



<https://ooba110ban.net>

〒157-0063 粕谷3-15-3 (TEL&FAX3307-1179) 第69号 2023年4月



区民が払った税金が使われていない！

貯金(基金)残高1465億円達成！ 胸を張る保坂区長って何なんだ？

●保坂区長が2月20日の所信表明で「令和4年度末の基金残高は約1465億円で過去最高」と宣言しました●この金額は区民税1年分。これで財政基盤が強化されたと胸を張って自慢したのです●ええっ！なんだって

世田谷区はいつから“銀行取り次ぎ業”に？

●驚きの宣言●銀行の支店長なら表彰物でしょう●しかし保坂さんは世田谷区の区長です。区長が区民から預かった税金を貯め込むというのは、どういうことでしょうか●使い方を知らないのでしょうか

4年前から、着々と仕事をさせない行政に

●次ページで解説していますが、保坂区長にとって「黒字による健全財政」が金科玉条になっているのです●そのためには必要な投資(老朽化した学校改築等)はしない、道路改修のサイクルを延ばす等々●結果的に行政に仕事をさせないようにしているのです(お金はあるのに)●それ故に長期計画の達成数が4割ということになるのです。

“間違った行革”に 取り憑かれた保坂区長

●そればかりではありません。小学校プールの廃止、改修時期を15年から20年に変更、区民施設の改築をやめて廃止、工事積算単価の低廉化、標準仕様の見直し・・・●何やら、大胆な行革のように見えて実は、何の意味もない“遅らせる行革”に過ぎないのです●保坂区長のホンネが実は令和5年度予算(新年度予算)の行革の取り組みに表れています●曰く「**公共施設改築時期の延伸**」と！●同じ予算説明書には区民税58億円の増収、東京都からの交付金(財調)が74億円の増収、地方消費税の収入が37億円の増収、と世田谷区の**税収は増大しているのに**です●世田谷区は増収なのに、ケチケチ行革の実行？これはどういうことでしょうか？●これは保坂区長が、本来の政策を歪めている(遅らせている)からです●払った税金が使われていない、そんな事ある？

普通預金

みずほ銀行	95億円
-------	------

定期預金

東京シティ信用金庫	200億円
-----------	-------

中央労働金庫	160億円
--------	-------

きらぼし銀行	140億円
--------	-------

東京スター銀行	110億円
---------	-------

野村信託銀行	100億円
--------	-------

オリックス銀行	60億円
---------	------

東京中央農業協同組合	60億円
------------	------

世田谷信用金庫	50億円
---------	------

昭和信用金庫	35億円
--------	------

世田谷目黒農業協同組合	20億円
-------------	------

計	1030億円
---	--------

●上記が昨年末での現金の預け先です。3月末ではさらに増大し、この他に債券運用が400億円●**因みに3月末での借金(特別区債)は560億円です。**

選挙前になると黒字になる保坂区政の不思議

●これらは区長選が近づくと、ありとあらゆる政策を「**延伸**」させて黒字化を進めます●これは次ページのシミュレーションの変化に現れています●ホントはそんなことしなくても増収で黒字だったのですが・・・